

幼児期の全身掻破と夜泣きを経て血や浸出液が減った小児アトピーの経過 (4歳8か月 男児)

症例 ID：001-04-OK2 | 記録日：2017年1月13日

1. 診断・治療前経過

生後6か月頃から乾燥があり、1歳6か月から2歳頃に初めて受診しました。一時軽減したため通院が途切れました。3歳6か月頃から顔、目周囲、耳、足の症状が強くなり、夜間のかゆみと痛みが続きました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	松本医院の外用薬を使用しました。ステロイド使用歴は確認できません。
製品名	赤色外用薬、エルタシン軟膏。
強度	ステロイドではありません。
使用期間	1歳6か月頃から断続的に使用しました。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後ともステロイド使用歴は確認できません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後6か月頃	初期症状	全身の乾燥がみられました。
1歳6か月～2歳	初回治療	外用と週2回の漢方入浴で一時軽減しました。
3歳6か月頃	再燃	顔、目周囲、耳、足に症状が広がり、血や浸出液が出ました。
4歳頃	症状の強い時期	帰宅後や夜間に泣き叫ぶほど掻き、入浴やプールで痛みがありました。
4歳5か月頃	変化	皮膚のめくれ、血、浸出液が減りました。
4歳8か月時	経過中	夜泣きは週2～3日、1回程度に減りました。

4. ピーク時期

ピークは、4歳頃に帰宅後や夜間に泣き叫びながら掻き、足の皮膚がめくれて血や浸出液が出た時期です。

5. 困りごと

- 昼寝と夜間睡眠がかゆみで妨げられ、家族が長時間ささる必要がありました。
- 水がしみるため幼稚園のプールを見学し、入浴時にも強い痛みがありました。
- 煎じ薬を飲ませるための工夫が必要でした。

6. 経過のまとめ

4歳5か月頃から皮膚のめくれ、血、浸出液が減り、表情と体力にも変化がみられました。

4歳8か月時には夜泣きの回数も減りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。